

令和4年度版

工事管理のひけつ

～優れた工事管理の取組事例集～

令和4年11月

公益財団法人横浜市建築保全公社

ま え が き

本冊子は、公共建築物の営繕工事における品質の向上及び適正な施工に資することを目的として、今年度の優良工事施工者表彰を受けられた皆様の実践内容を取りまとめたものです。

当公社では、平成23年度より、表彰を受けられた皆様方の実践されている創意工夫について、少しでも多くの修繕工事に携わる方々の参考となるよう、事例集として提供しております。

公共建築物の修繕工事に携わる方々におかれましては、本冊子を参考に、創意工夫や一層の充実を図っていただくことを期待しております。

本冊子作成にあたりまして、表彰を受けられた皆様方に多大なご協力を賜りましたことに、厚くお礼申し上げます。

令和4年11月

公益財団法人横浜市建築保全公社
理 事 長 黒 田 浩

目 次

まえがき

【建築部門】		頁
株式会社浅川建設	東品濃小学校外壁改修その他工事	1
アラン建設株式会社	北部方面学校施設防球ネットその他緊急改修工事（後期）	2
有限会社板津農園	馬場保育園フェンス設置その他工事	3
株式会社NB建設	ほどがや地区センター体育室ギャラリー建具その他改修工事	4
株式会社橘木	西菅田保育園ほか1園フェンス改修その他工事	5
坂本建設株式会社	十日市場保育園トイレ改修その他工事（建築・電気・機械）	6
原建設株式会社	保土ケ谷区総合庁舎本館4階トイレ改修工事（建築・電気・機械）	7
藤建設工業株式会社	大道中学校武道場床改修その他工事	8
株式会社本田工務店	港の見える丘公園横浜市イギリス館ほか1公園改修工事	9
株式会社谷津建設	市ケ尾小学校体育館屋根改修その他工事	10
【電気設備部門】		
株式会社アイキン電機工業	東希望が丘小学校教室等照明設備改修工事	11
永和防災株式会社	公田小学校自動火災報知設備改修工事	12
株式会社FGD	大正地区センター分電盤等改修工事	13
株式会社協栄電設	原小学校ほか3か所防災スピーカ設置工事	14
株式会社江電社	大口台小学校体育館照明改修工事	15
JFEテクノス株式会社	神大寺地区センター受変電設備等改修工事	16
中央エレベーター工業株式会社	西スポーツセンターエレベーター更新工事	17
東電同窓電気株式会社	大倉山記念館受変電設備等更新工事	18
【機械設備部門】		
エルゴテック株式会社	田奈小学校給水管改修工事	19
紘永工業株式会社	浦舟特別支援学校空調設備更新工事	20
興和工業株式会社	新横浜公園日産スタジアム量水器更新工事	21
新興電設工業株式会社	川井小学校トイレ改修その他工事（機械）	22
株式会社司工事	中央卸売市場本場水産物部仲卸棟給水設備改修工事（BP-3系統）	23
株式会社日生設備	永谷小学校ほか1校トイレ改修その他工事（機械）	24
株式会社ヨコレイ	港南台ひの特別支援学校空調設備更新工事（2期）	25

※掲載は、工事部門別に五十音順（施工者名）としております。

株式会社浅川建設

東品濃小学校外壁改修その他工事

本工事は、横浜市戸塚区にある東品濃小学校のA棟・C棟の外壁改修工事でした。施設にご挨拶に伺ったところ世間はコロナ渦の最中だった為、新型コロナに関して心配されており、感染症対策にも充分注意し施工・管理をする必要がありました。

安全・感染対策としては

- ・作業員の朝礼・入場時体調確認。(現場事務所に電子体温計+消毒液+予備のマスク用意)
- ・学校からは体育館のトイレを使用してくださいとお言葉をいただいたのですが、極力学校関係者、体育館一般利用者の方と作業員が接触しない様グラウンドの一番端の仮囲い内に仮設トイレを設置させていただき使用しました。
- ・毎日の授業カリキュラム、学校行事及びキッズクラブの管理者様、一般開放グラウンド利用担当者様との打合せにて工事エリアの調整・施工。
- ・東品濃小学校の教室棟であるA棟、C棟は両面バルコニー付きタイプの中廊下式の造りであり廊下が薄暗いため校舎内で作業等がある場合安全誘導員を付け、かつ体に反射ベストを付けて、低学年児童でもすぐわかる様注意しました。

施工管理に関しては、一番最後に施工する壁に防水型複層塗材 E の施工工程サンプルを作成して各作業エリアが今どの工程で適切に作業がなされているか毎日、段階確認を職長・協力業者代理人と共に確認・管理させていただきました。

今回、施設関係者皆様のご協力・担当監督員の方々の迅速なご判断ご対応のおかげで無事故無災害で工事が出来た事を感謝しております。今後もこの貴重な経験を活かし、なお一層の技術向上に努めて参りたいと思います。

工 事 場 所	戸塚区品濃町 5 5 9 番地		
請 負 人 氏 名	株式会社浅川建設	代表取締役	浅川 健二
契 約 年 月 日	令和 3 年 5 月 19 日		
完 成 期 限	令和 3 年 11 月 15 日		
完 成 年 月 日	令和 3 年 11 月 8 日		
検 査 年 月 日	令和 3 年 11 月 12 日		
契 約 金 額	86,917,600 円		

アラン建設株式会社

北部方面学校施設防球ネットその他緊急改修工事（後期）

本工事は、北部方面管内一円という発注方式で、当社としても初めての発注方式での受注でした。応札・落札に当たり、管内一円という発注方式の工事について色々と情報を集め、まず社内で事前に工事の進め方、工程、資材の注文からの入荷期間、協力業者選定、安全管理方法、品質管理、出来形管理、書類管理方法等を検討・共有し工事に臨みました。

防球ネット改修現場では、まず現地で施設管理者・監督員・当社・協力業者で立合いを行い、施工箇所、延長、施工法等協議を行いました。協議が整い、承諾図の作成・施工時期・施工金額等、監督員さんのご承諾後工事を進めました。ある程度予想していた工事とはいえ、ご承諾後に現地を再確認、安全に施工するため仮設計画図の現地での再確認を行いました。

防球ネット改修では、グラウンドでサッカーの授業がありましたが、生徒さんたちが夢中になりボールを追いかけて現場内に飛び込まないように、当初計画にはなかった学校の移動式ネットを了解を得て借用、カラーコーンと二重の安全措置を実施、安全に努めました。

防球ネット柱の追突時の軽減のための緩衝マットの取付けについては、ネット等の取付け金具ができる限りあたりにくいように取付け、また立合いの際には見つからなかった既設ネットの一部破れを高所作業員が見つけ、補修しました。

門扉改修及びネットフェンス改修現場では、承諾図だけでは気が付かなかった、ネットフェンス端部の取付け方法の安全を考慮し、仕上げました。またネットフェンスの一部の足元の現地地盤が低く、生徒の安全、及びボール等の飛び出す可能性があったため、監督員さんご指導のもと、耐久性土のうで埋め、安全に仕上げを行いました。

以上、施工・安全等に当該工事に取り組み、監督員さんのご指導・打合せ・施設関係者の皆様の協力により、無事、安全に工期内に竣工することが出来ました。

工 事 場 所	管内一円		
請 負 人 氏 名	アラン建設株式会社	代表取締役	奈良 尚登
契 約 年 月 日	令和3年10月6日		
完 成 期 限	令和3年3月31日		
完 成 年 月 日	令和3年3月30日		
検 査 年 月 日	令和3年3月31日		
契 約 金 額	11,957,000 円		

有限会社板津農園

馬場保育園フェンス設置その他工事

本工事は、馬場保育園内の老朽化したフェンスの改修を行いました。

施工場所が保育園のため、職員の方々や子供たち及びその保護者、また近隣の方々に配慮をしながら、園との連携を密に取り作業を進めました。

コロナ禍での作業でしたので、感染対策にも配慮が必要な工事となりました。

安全対策として、フェンス交換時に園児が園外に出ない様、新しいフェンスを設置後に古いフェンスの撤去作業を行うという異例の施工方法へ変えました。

園長先生と密な協議を重ねていく中、花壇の植物の育ちがあまりよくないとお話をお聞きし、園生活をより良いものとするため、花壇の土壌改良をご提案させていただき、またフェンスの改修に伴い園名看板のリニューアルもご提案しました。新しい看板のデザインは先生方に選んでいただき、これらを創意工夫及び地域貢献の一環として行いました。また防犯対策として、正門部の既設フェンスと新設門扉の隙間を解消しました。

施設関係の方々のご理解と、担当監督員のご協力及びご指導を賜り、本工事を滞りなく竣工することが出来ました。心より感謝申し上げます。

コミュニケーションをしっかりとるということが良い工事を行うために必要不可欠だと、本工事をもって改めて実感致しました。

今後も安全でより良い施工を目指していける様、地域の方々に貢献し精進して参ります。

工 事 場 所	鶴見区馬場二丁目7番27号		
請 負 人 氏 名	有限会社板津農園	代表取締役	板津 菊雄
契 約 年 月 日	令和3年10月27日		
完 成 期 限	令和4年2月2日		
完 成 年 月 日	令和4年1月17日		
検 査 年 月 日	令和4年1月20日		
契 約 金 額	7,844,100 円		

株式会社NB建設

ほどがや地区センター体育室ギャラリー建具その他改修工事

本工事は、経年劣化により多発している漏水箇所の建具交換が主なものとなります。改修箇所は地区センター2階ギャラリーのバルコニーに面した側で、対象建具は約27mにわたり立上り壁がなく、漏水が多く確認されている屋根パネル付きの掃き出し連窓サッシです。今回は、この箇所に新しく立上り壁を設け、漏水を改善するものです。

【工事管理において、重視した点・工夫した点】

1. 安全面について

施設を運営しながらの工事なので、運営に支障がない事、施設利用者・第三者とのトラブルがないよう、受け入れ教育・新規入場者教育にて現場ルールを作成し周知しました。特に工事の連絡を含めて、施設とのコミュニケーションは大事にしました。

工事区画内の安全配慮として、仮設屋根を設置し、外部は足場に防音パネルを取付ける設計であったため、日中でも比較的暗い状況を作ることがないように、作業場所の1段分は採光パネルを取付けました。また、足場にはLED投光器を設置し、作業場全体で照度が確保できるよう工夫しました。

2. 品質面について

要求されていることが漏水を止めることであるため、建具の構造（屋根部分の水抜き穴を設けるなど）や躯体部分の取り付け方法を重視し、既存の状態をよく把握しながら施工を進めていきました。建物取り合いでの捨てシール・塗布防水施工など2重での施工を確実に実施することを重視しました。

既存建具の解体が終わった時点で、建具が取り合う躯体・仕上げ材の部分を細かく実測し製作図へと反映し、限られた工期内で施工場所の実測数値と納品する建具の相違が生じないように重視しました。

私自身 横浜市建築保全公社様での工事は初めてであったが、担当監督員、計画担当者、施設関係者その他の関係者様のご指導・ご鞭撻があり、施設に関してはご理解・ご協力があったからこそ結果であったと思っております。今回の表彰を励みに、これからも日々精進してまいります。ありがとうございました。

工 事 場 所	保土ヶ谷区天王町1丁目21番地		
請 負 人 氏 名	株式会社NB建設	代表取締役	山菅 正人
契 約 年 月 日	令和3年8月4日		
完 成 期 限	令和4年2月22日		
完 成 年 月 日	令和4年2月16日		
検 査 年 月 日	令和4年2月18日		
契 約 金 額	70,730,000 円		

株式会社橋木

西菅田保育園ほか1園フェンス改修その他工事

本工事は、神奈川県西菅田保育園の外周を囲う既存格子フェンスとU型側溝を撤去した後、メッシュフェンスとU型側溝を新設する改修工事でした。

現場条件として、保育園南側は法面上端部沿いにフェンスとU型側溝を約50m設置するため、掘削時の地盤軟化によって法面崩壊の危険性がありました。掘削土量を削減し、法面崩壊を防ぐために下記の変更提案を行いました。

- ・フェンス用現場打ちコンクリート基礎 → 金属製スパイラル基礎へ材料変更
- ・U型側溝・蓋の全撤去及び新設 → 蓋は全撤去及び新設、側溝は傾き・破損が認められる部分のみ撤去及び新設
- ・施工後の土砂流失防止策として、フェンス基礎沿いにプラスチック製擬木土留めの設置

上記の変更を行うことで、無事故無災害で竣工することができました。

また、担当監督員や施設責任者の園長先生と都度工事の進捗や仕上りの確認を行い、挙げられた細部の要望に対しては、隙間や段差防止策を積極的に提案・協議を重ねることで、利用者にとって安全で快適な現場を納めることができました。

最後に、工事全般に渡り滞りなく安全に作業を進めるにあたって、ご尽力して頂いた担当監督員様、施設関係者様、協力業者様各位、この場をお借りして改めて御礼申し上げます。

今後とも、今回の経験を活かしてより良い施工管理が出来る様、精進して参りたいと思います。

工 事 場 所	神奈川県菅田町488番地		
請 負 人 氏 名	株式会社橋木	代表取締役	山崎 次郎
契 約 年 月 日	令和3年11月10日		
完 成 期 限	令和4年3月10日		
完 成 年 月 日	令和4年3月9日		
検 査 年 月 日	令和4年3月10日		
契 約 金 額	9,611,800 円		

坂本建設株式会社

十日市場保育園トイレ改修その他工事（建築・電気・機械）

本工事は、1階1才児用・2階3～5才児用トイレのドライ化改修工事及び1階厨房の内装改修・一部厨房機器の更新工事が主な工事でした。

施設周辺は、中学校・公園が隣接され高層の集合住宅も多く密集する閑静な住宅街にあり、作業音等が反響し易い環境でした。また保育園では午睡もあるので、特に音が出る作業に関しては、日々の作業内容を時間毎に計画・実行し、作業開始・終了の報告の際に保育園運営に支障をきたしていないかを確認することを徹底しました。

その他安全管理で注意した点は、敷地出入口が1か所であるため保育園関係者と工事関係者の動線が同じになることでした。着手前に現調を兼ねて普段の通園状況を確認したところ、登降園時には送り迎えでの保護者の方の車両・自転車等かなりの台数が来園されておりました。よって、資機材搬出入等で乗入れる際は、交通誘導員配置の徹底、登降園の時間帯は避け日中の午睡を避けた時間帯に行うなどルール遵守の徹底を図りました。

時間帯での区画を徹底することで、接触する場面を減らすことにより、新型コロナウイルス感染対策の一端を担うことが出来たのではないかと思います。

工程管理について特に注意した点は、半導体不足による設備機器類の納期遅れや合板等の建築資材の品薄の状態が続いている状況下であることでした。今日現在も変わらない状況ですが、当時は懸念されておりましたので、全体工程表作成の際にはそれぞれの納期の確認を行い反映させ、月間工程表・週間工程表を作成し、日々の進捗確認を徹底しました。

今回の工事は、トイレ改修工事においては施設内3カ所のトイレの内2カ所が工事対象となり、また厨房改修工事期間中はお弁当を用意して頂くなど、ご不便をおかけすることが多かったと思います。

工程通り進められ無事故・無災害で竣工を迎えられたのも、園長先生をはじめ施設関係者や保護者の方々のご理解とご協力の賜物と心より御礼を申し上げます。また公社監督員の方のご指導や迅速なご対応があったることと改めて感謝しております。

今後もこの経験を活かし利用される皆様に喜んで頂けるよう一層の努力をして参りたいと思います。

工 事 場 所	緑区十日市場町1296番地		
請 負 人 氏 名	坂本建設株式会社	代表取締役	山崎 喜昭
契 約 年 月 日	令和3年10月20日		
完 成 期 限	令和4年3月25日		
完 成 年 月 日	令和4年3月23日		
検 査 年 月 日	令和4年3月25日		
契 約 金 額	39,028,000 円		

原建設株式会社

保土ヶ谷区総合庁舎本館4階トイレ改修工事（建築・電気・機械）

本工事の内容は4階トイレのドライ化、3階トイレ天井の改修でした。

まずは着工前の打ち合わせ、現調を行ったところ懸念材料がいくつか挙がりました。作業中の安全の確保及び作業の円滑化と品質の確保を図る為にはそれらをクリアする必要があると考えました。その中でも特に印象が残った3点の内容、対策を以下に示します。

- ① 解体作業時に3階既存トイレの毀損。
- ② 作業の区画設置に伴い施設利用者の導線の変更。
- ③ 区画内にフロア全体の空調機械の集中給気口があり、作業の粉塵等の吸い込みによる機械の故障。

以上の対策として

- ① 3階トイレを細かく採寸し、木材による強度のある養生材を構外にて作製し、現場へ搬入・設置。
- ② 施設利用者へ分かり易い掲示物を心掛け、使用禁止のほか期間等も明示。3階の幼児同伴の利用者向けには優しく分かり易い表現と目線の高さに配慮。幼児の強引な侵入等も考慮し、安全で堅牢なバリケートを設置。施設側の協力のもと、時間外における搬入経路の確保と仮置場の利用。
- ③ 空調機械の試運転等の協力を得て、空気の流れ・強さを把握。給気口のガラリ全面に不織布フィルターを設置しこまめに交換。給気量を分散させるために施設管理者と協議を重ね、区画外機械室の扉の半開放。重ねて少しでも粉塵を減らす為に粘着マットを使用。

これらの事項の解決・遂行には施設管理者の多大なるご協力、保全公社監督員の細部に至るご理解があつてこそのものであったことをここに感謝致し、工事報告と致します。

今後とも、関係各位のご協力を賜りながら安全第一を最優先に品質の確保を心掛け工事の遂行に努めていきたいと思ひます。

工 事 場 所	保土ヶ谷区川辺町2番地9		
請 負 人 氏 名	原建設株式会社	代表取締役	原 秀一
契 約 年 月 日	令和3年10月27日		
完 成 期 限	令和4年3月25日		
完 成 年 月 日	令和4年3月10日		
検 査 年 月 日	令和4年3月22日		
契 約 金 額	21,395,000 円		

藤建設工業株式会社

大道中学校武道場床改修その他工事

本工事は、大道中学校の武道場床及び壁の改修と床下の湧水の止水工事が主だったものでした。

一番の重要視した工事内容は、湧水の止水工事で、武道場が半地下にあり、また隣接面に河川があることで、武道場の躯体に沿って水脈があることは予想できましたが、湧水の水量を確認したところ想像以上の水量で完全に止水を出来るのかと不安に思いました。

この湧水による床下浸水の影響でカビの発生があり、施設利用者への健康に配慮した目的での工事計画であり、万が一地下湧水の止水が完全に出来なかった場合の対策として、排水溝の設置も検討しなければいけない状態でした。

武道場の床は、防カビ対策として横浜市内の学校で初めてクッション性のある長尺塩ビシート仕上げにするモデルケースにもなったものでした。

止水工法の工法は親水性止水材注入という仕様でした。湧水の発生箇所を特定することが第一段階で、その後、湧水の発生場所の止水を行いました。止水工事完了後は目視による漏水の確認と室内湿度の計測管理を行いました。親水性止水材による止水箇所は漏水を止めることが出来ましたが、経過観察を行うと別の箇所からの漏水が新たに発生し、今度は疎水性止水材に注入工法を選定し、2度に渡り疎水性止水材の注入を行い、完全に止水をすることが出来ました。

経過観察での室内の湿度管理では、止水工事の施工前、施工後での日ごとの湿度数値の減少が如実に計測結果として確認できたのと、体感湿度でも感じられる状況でした。

止水工事が完全に出来た理由として、止水工法の設計段階での選定、事前の発注者の担当者、止水材メーカー、元請業者、止水施工業者の関係者全員での現地の視察、打ち合わせの実施、想定外であった既存電気配管からの湧水を配管に直接止水材の注入という施工中での、判断が良い結果につながったと思っています。

また、内装解体してみると既存の木下地組が腐食していたので、腐食箇所を撤去し、コンクリートスラブから組むはずの木軸に亜鉛メッキ製鋼製束を使用し、木軸がコンクリートに直接触れないよう、創意工夫し木下地組の復旧を実施いたしました。

竣工して感じた点は、何よりも学校関係者が長年、湧水によるカビの発生について、生徒の健康への悪影響の心配を排除でき、感謝されていたことが今回の工事竣工の充実感でした。

工 事 場 所	金沢区大道一丁目85番1号		
請 負 人 氏 名	藤建設工業株式会社	代表取締役	藤野 弘
契 約 年 月 日	令和3年10月6日		
完 成 期 限	令和4年2月28日		
完 成 年 月 日	令和4年2月15日		
検 査 年 月 日	令和4年2月21日		
契 約 金 額	21,901,000 円		

株式会社本田工務店

港の見える丘公園横浜市イギリス館ほか1公園改修工事

本工事は、港の見える丘公園内の横浜市イギリス館（横浜市指定文化財）と山手イタリア山庭園内のブラフ18番館（横浜市指定歴史的建造物）の2棟の煙突廻りの漏水補修でした。

事前に山手まちづくり協定に基づく建築行為計画届を提出し、外観を変えずに既存建物を修復することを遵守、重点課題としました。

既存洋風瓦は、在庫が少量だった為、慎重に取外し、細心の注意を図り、一時保管し葺き替えをしました。

両館共に昭和初期の横浜家具等、貴重な照明の陶器製ランプシェードなどが展示されていた為、施設管理者様と綿密な打ち合わせを行い、一時撤去後、配慮した材料にて養生を行いました。

公園内は一般開放中の為、施設利用者の動線を充分考慮し、場内の芝生の育成に注意しながら安全第一に作業を行いました。

工場の目的が雨漏り補修の為、漏水の箇所、原因を特定することが最重要でしたので、散水を行いながら赤外線サーモグラフィ機器を駆使して原因を解明しました。

また今後、雨水が進入するのを前提に、板金、下地材の納まりを二重三重に考慮し漏水しにくい施工を行いました。

施設管理者、担当監督員、横浜市環境創造局、横浜市緑の協会の皆様方にご協力いただき無事完成致しました。日々、公園施設関係者の皆様が早朝より通路の清掃、植栽の手入れ、建物の管理等を運営されているということ強く感じました。

何より、横浜市の歴史的建築物の修復、維持管理に携われたことをありがたく存じております。

今後も発注者のご要望に応えられる建設会社を目指して努力してまいります。

工 事 場 所	中区山手町114番地		
請 負 人 氏 名	株式会社本田工務店	代表取締役	本田 利雄
契 約 年 月 日	令和3年11月10日		
完 成 期 限	令和4年3月11日		
完 成 年 月 日	令和4年3月8日		
検 査 年 月 日	令和4年3月9日		
契 約 金 額	9,074,890 円		

株式会社谷津建設

市ケ尾小学校体育館屋根改修その他工事

今回、本工事を施工させて頂くにあたり、屋根という事前調査が困難な改修工事に於いて、如何にして工事前に着工前に改修部分の既存形状と納まり及び取合い部分の納まりを細部まで確定させたうえで、施工図及び施工計画を決定する事が出来るかを考えて取り組みました。

その考えから、メーカーの協力により、足場施工前にドローンを使用し、既存屋根の全体像から細部までを写真撮影をする事が出来ました。結果、設計では通常の波型スレートの改修想定でしたが、写真でその形状では無い事が確認され、且つ正しい形状の製品の種類の特定も事前に判断する事が出来ました。従って棟の形状・ケラバの形状及び特殊な納まりや、止付け金物の設置箇所等も事前に想定することが出来ました。その状況下のもとで発注部材の納期や足場施工後ではないと実測出来ない部材の納期を正確に確認出来たうえで、希望工程や希望仮設計画を作成する事が出来ました。その上での学校との仮設及び工程調整が出来たので、学校側からもかなりの御協力を得ることが出来たおかげで、安全対策及び騒音対策も学校の要望に沿う形で実施することが出来ました。

また、品質管理をしっかり行いながら、綺麗に仕上げる為の工事手順を専門業者の施工計画を参考にしつつも、それにとらわれず、過去の経験も踏まえたうえで現在最良と思える手順での施工を専門業者の理解と協力を得て事前決定し、担当監督員の許可を得ました。

工事に着手してからは、事前調査の徹底が功を奏してか、幸いにも全ての管理体制で実工程表及び施工計画通り進捗する事が出来ました。更に、仕上げに関しても十分納得いく物にする事が出来ました。

各関係者の協力あってこそその結果ではありますが、改めて改修工事時の事前調査の重要性を認識する事が出来ました。

今後もこの経験を活かして、より良い工事をしていきたいと考えております。

工 事 場 所	青葉区市ケ尾町1632番地1		
請 負 人 氏 名	株式会社谷津建設	代表取締役	谷津 精二
契 約 年 月 日	令和3年5月19日		
完 成 期 限	令和3年9月30日		
完 成 年 月 日	令和3年9月23日		
検 査 年 月 日	令和3年9月27日		
契 約 金 額	27,368,000 円		

株式会社アイキン電機工業

東希望が丘小学校教室等照明設備改修工事

本工事は夏休み期間中に施工する小学校の照明設備改修工事です。

夏休み中でも校庭、体育館を利用される方や先生方がいる中での工事になりますので、特に第三者災害を防止する為、施工場所の立ち入り禁止措置、作業員通路の取決め、産業廃棄物用コンテナ及び作業車両置き場の区画養生を副校長先生と協議の上、確実に施工を進めました。

また、「施工前よりもきれいに」をコンセプトに徹底した養生と作業終了後の清掃を念入りに行いました。

【コロナ対策】

作業員を固定し、最小の人数で施工するよう調整しました。また会社集合時に体温測定を実施し、現場に入る前に体調チェックと消毒の徹底を行いました。

【工程管理】

月間工程表と週間工程表を作成し、工事進捗を常に把握し工事の遅れがないように努めました。

【品質確保】

施工班は撤去・取付2名、職長1名の3名1組とし、メンバー固定による施工の統一、現場代理人による教室毎の全数工程内検査の実施で品質確保に努めました。

教室や廊下の養生・照明器具配りをする段取り班、撤去品運搬や作業終了後の片付け清掃を行う片付け班を別に配置することで、施工班は照明器具取付に集中できるように工夫しました。

【創意工夫】

1. 小学校での工事でしたので立入禁止などの安全看板をひらがな表記とし、生徒さんにも分かりやすいようにしました。
2. ホワイトボードを職員室前に掲示させてもらい、工事進捗状況、日々の工事場所と作業用通路、明日の予定を記入、工事担当の副校長先生以外の先生方と生徒さんにも工事内容が確認できるようにしました。
3. 作業員出入口に下駄箱を設置させてもらい、外履き、上履きの整理整頓を心掛けました。

工事が終わり、先生方から明るくなったと喜びの声をいただいたことがとても嬉しく今後の糧になりました。本工事の経験を活かし更なる創意工夫と品質向上を目指し精進したいと思います。

工 事 場 所	旭区東希望が丘155番地		
請 負 人 氏 名	株式会社アイキン電機工業	代表取締役	相澤 金太郎
契 約 年 月 日	令和3年6月16日		
完 成 期 限	令和3年9月17日		
完 成 年 月 日	令和3年9月3日		
検 査 年 月 日	令和3年9月10日		
契 約 金 額	24,420,000 円		

永和防災株式会社

公田小学校自動火災報知設備改修工事

本工事は、古くなった横浜市立公田小学校の自動火災報知設備をリニューアルする工事でした。ご存知の通り、自動火災報知設備は子供たちの命を守る大切な設備であると共に、大勢の児童が登校している中で施工をしなければならない為、弊社では特に安全に留意すべき案件であると位置付けております。又、本工事の主な作業である火災受信機の交換工事は、未警戒になる日が発生する事を防ぐ為に1日で作業を終わらせる必要性がある事や、現行の消防法に合致するように施工する為にも、事前調査を慎重かつ入念に実施する事に重点を置きました。又、日々の施工後に、万が一の機器不作動等を防ぐ為に、施工後の試験を徹底すると共に出来形管理を記録し、ミスの無い施工に努めました。

自動火災報知設備改修工事は事前調査も含め、校内全箇所に入室しなければなりません。又、非常ベル鳴動試験等もあるため、きめ細かい工程管理が必要となります。その為、副校長先生をはじめ、学校職員の皆様との連絡を密にし、授業の時間割、学校行事等、様々なスケジュールを常に把握する事に努め、円滑で安全な調査・施工を心掛けました。又、校内での資材運搬時は十分に注意を払い、大きめの資材を運搬する際は、誘導員を配置し接触等の事故の無い様に努めました。又、新型コロナウイルス感染症対策として独自のチェックリストを用意し感染予防、拡大防止に努めました。

学校関係者の方々の多大なるご理解ご協力のもと、本工事が円滑に進捗し無事故無災害で完工出来た事を心より感謝申し上げると共に、本工事で得ることが出来た経験教訓を今後も活かし、更なる安全・円滑な施工を目指しより一層の努力をしていきたいと思っております。

工 事 場 所	栄区公田町354番地3		
請 負 人 氏 名	永和防災株式会社	代表取締役	野岳 雄一
契 約 年 月 日	令和3年11月4日		
完 成 期 限	令和4年2月15日		
完 成 年 月 日	令和4年2月3日		
検 査 年 月 日	令和4年2月10日		
契 約 金 額	5,743,210 円		

株式会社FGD

大正地区センター分電盤等改修工事

本工事は、地区センターの分電盤及び警報盤の改修工事で、以下重点項目に留意して工事管理を行いました。

・重点項目

1. 本件工事は停電作業となる為、工事中は休館とする必要があったが、定期の休館日が月に1日のみで、出来る限り休館日以外に休館する事は避けたいとの事を施設から要望された為、休館日1日での工事完了を検討する必要があった。
2. コロナ禍の影響によりブレーカー等の機器が供給不足になっており、工期内に完了する為に機器類の調達方法を検討する必要があった。
3. 当該施設は、休館日翌日から通常運営する為、工事完了後に照明の不点灯や、機器の不作動等が起きないように、細心の注意が必要であった。

・対策

1. 工期内の最終休館日に分電盤製作が間に合うよう受注後速やかに調査を行い、早期に機器の発注をした。又、各盤個別にタイムスケジュールを作り、無駄な時間が出来ないよう留意した。
2. 分電盤製作メーカーだけで機器を調達する事は困難だと早期に判断し、電材業者や同業者等、幅広く協力を仰ぎ工期に間に合うよう機器の調達をした。
3. 施工日前に探査機を使用して無停電で回路調査を行い、停電時に個別にブレーカーを遮断しながら調査記録と合っているか確認し、復電後も個別にブレーカーを投入し、記録と合っている事を確認した。

以上により、予定通り休館日1日で工事を完了する事が出来ました。

今回の工事だけではありませんが、早期に調査を実施する事により着工日までの期間に余裕が出来る為、調査不足によるトラブルが起きにくくなり、品質も向上すると思います。又、現場代理人の気持ちにも余裕が出来るので、より良い現場管理が出来ると思います。

末筆ながら、関係者の皆様のご協力により無事に竣工出来ました事、心より感謝申し上げます。今後もより良い施工を目指し、精進していく所存でございます。

工 事 場 所	戸塚区原宿三丁目59番1号		
請 負 人 氏 名	株式会社FGD	代表取締役	藤田 順夫
契 約 年 月 日	令和3年10月20日		
完 成 期 限	令和4年2月25日		
完 成 年 月 日	令和4年2月10日		
検 査 年 月 日	令和4年2月18日		
契 約 金 額	10,463,200 円		

株式会社協栄電設

原小学校ほか3か所防災スピーカ設置工事

小学校の屋上に防災スピーカを設置する工事ということで、先ず小学校の授業に支障が出ないこと、また高所作業車を使用する際は、日時を選んで極力生徒に負担の無いように、それでいて週休二日を確保出来る様に工程調整を学校側と綿密に行い工事を進めました。

高所作業車で施工した場所などで後々のメンテナンスが大変な場所には、ネジの緩み止めを塗布する等に対応しました。

屋上は非常に風が強い日もあるので、飛散養生には気を遣い、作業中でもこまめにゴミを回収・清掃するなどし、作業終了後は毎日パラペットの中に荷物を仕舞って帰宅するように心がけました。

風雨に耐えうる外部仕様の製作金物に配線を沿わせる作業も、製作金物を傷付ける事無く施工出来る様に工夫を凝らし、配線作業の金物取付で錆が発生しないように対処出来る様に施工しました。

こうした綿密な工程管理・安全管理と細かな施工の工夫を積み重ねた品質管理が結果として良い施工に繋がりました。

2度同じ現場は無いと言われる。次に受注出来た現場があれば、お客様と現場のバランスを考え、よりよい施工を目指したいと思います。

工 事 場 所	瀬谷区阿久和東四丁目33番地1		
請 負 人 氏 名	株式会社協栄電設	代表取締役	加藤 暢介
契 約 年 月 日	令和3年9月24日		
完 成 期 限	令和4年1月14日		
完 成 年 月 日	令和4年1月5日		
検 査 年 月 日	令和4年1月12日		
契 約 金 額	15,469,080 円		

株式会社江電社

大口台小学校体育館照明改修工事

標題の工事につきまして、特に工夫した取組内容は次の通りです。

1. 施工計画

夏休み期間中に体育館を使用する予定が入っておりましたので、工事が順調に進むよう事前調査を十分に行い、施工計画を作成しました。

体育館の入り口が校舎側と屋外からの2カ所ありましたので、リモコンスイッチを個別に設けるように変更しました。

2. 工程管理

ローリングタワーの組み直し等をなるべく少なくしました。

機器の搬出もジャストインタイムを心掛けて、無駄のない工程を組みました。

上部での塗装作業を最小限にするために、配管等は事前に塗装しました。

3. 品質管理

受入れ検査のリストを計画時に作成して、それを基に受入れ検査を行いました。

器具の取付時に曲がりがないように、1台毎に水平器で検査を行い、トルクレンチでの締め付け確認を、施工者と代理人の2名で行いました。

4. 安全管理

小学校内での工事のため、児童等が工事場所に立ち入らないようにフェンスで区画を行い、また表示もひらがなで表記して、第三者災害の防止に努めました。

夏期の工事でしたので、空調服・スポットクーラー・クーラーボックス等を用意して、熱中症対策を行いました。

最後に工事全般を通しまして、工事を円滑に出来ましたのは、学校関係者様、担当監督員様、施工関係者様のご協力によるものと思います。皆様に心より感謝いたします。

今後も皆様に喜んでいただけますように、より一層努めて参ります。

工 事 場 所	神奈川県大口仲町460番地
請 負 人 氏 名	株式会社江電社 代表取締役社長 松田 隼輔
契 約 年 月 日	令和3年6月9日
完 成 期 限	令和3年10月15日
完 成 年 月 日	令和3年10月7日
検 査 年 月 日	令和3年10月14日
契 約 金 額	14,850,000 円

J F E テクノス株式会社
神大寺地区センター受変電設備等改修工事

本工事は、地区センターの受電電圧の変更に伴う受変電設備の撤去、照明器具の更新を行いました。

【工程管理】

まず、工事を進めるにあたり受変電設備・照明設備停電を行う為、職員の方と日程の調整から行いました。施設営業に支障がでないよう、受変電設備は地区センターの休館日を利用した全停電工事、照明設備更新では工事範囲を決めて部分停電を実施し工事を進めました。

【施工計画】

受変電設備の撤去では、近隣住民の生活に影響が出ないように細心の注意を払って施工計画を立てました。計画当初、撤去する受変電盤を地下1階から吊上げるには大型クレーンを用意する必要がありました。しかし、地下1階からの搬出口が公道の横にある地区センターだと、全車線を塞いでの作業となる恐れがありました。

そこで、受変電盤を1面毎に解体、更に盤内の重量物を抜き取って吊上げる質量を減らすことで小型クレーンでの作業を可能にし、片道車線のみ通行止めでこの問題をクリアしました。

【品質管理】

露出配管では、既存設備の寸法を測定し、干渉しないよう敷設位置を立面図におこし、作業を進め、工程内検査を実施し社内確認を行いました。

【安全管理】

天井内配線時に、施設利用者と接触を避けるため作業区画と表示を点検口毎に移動させながら作業を行いました。

コロナウイルス対策として入場前2週間分の検温記録及び当日の検温と消毒を実施し安全管理しました。

今回の工事において、担当監督員様、施設職員、関係者様、協力業者各位のご協力により工事を無事故で終える事が出来ました。皆様に感謝しております。

工 事 場 所	神奈川県神大寺二丁目28番18号		
請 負 人 氏 名	J F E テクノス株式会社	代表取締役	能 登 隆
契 約 年 月 日	令和3年8月25日		
完 成 期 限	令和4年3月18日		
完 成 年 月 日	令和4年3月7日		
検 査 年 月 日	令和4年3月16日		
契 約 金 額	15,081,000 円		

中央エレベーター工業株式会社
西スポーツセンターエレベーター更新工事

本工事は、既存油圧エレベーターを撤去し、乗用マシンルームレスエレベーターを設置する工事でした。
また建築・電気関連工事が含まれ、停電作業を伴う、既存ブレーカーを撤去・新設する工事でした。

1. 今回の工事は、コロナウィルスの影響で交換する予定のブレーカーが入手困難になり、手に入りませんでした。代替えとして弊社で前もって購入していたブレーカーを担当監督員様とご相談した上、使用し、予定通り交換作業を終わらせて工期内に無事完成することができました。
2. 乗場フロアが大理石等特殊な意匠でしたが、既存の開口を利用しながら最小限のハツリ工事で大理石を痛める事なく、三方枠、敷居、乗り場インジケーター、乗場釦を交換する事ができ、大変満足の良い出来栄となりました。
3. 資材搬出入の際、資材置場が1F駐車場で天井が低かった為、ユニック車を使用しての搬出入が不可能でした。施設管理者様と事前に打合せした上で、施設側道にて道路使用許可を取得し、ユニック車を停車させ、誘導員を配置し、自転車、自動車、歩行者に細心の注意を払って搬出入作業を安全に行いました。

今回の工事は、いながら工事でしたが工期内に無事に完了できました。施設関係者様のご理解とご協力、担当監督員様のご指示あつてのこと感謝しております。今後とも、この経験を活かして安全第一でより良いエレベーター作りを進めていきたいと思ひます。

工 事 場 所	西区浅間町4丁目340番地1
請 負 人 氏 名	中央エレベーター工業株式会社 代表取締役社長 福田 賢司
契 約 年 月 日	令和3年8月12日
完 成 期 限	令和4年2月25日
完 成 年 月 日	令和4年2月17日
検 査 年 月 日	令和4年2月24日
契 約 金 額	28,487,800 円

東電同窓電気株式会社

大倉山記念館受変電設備等更新工事

本工事は記念館内の受変電設備経年劣化に伴い、キュービクル更新・高圧ケーブル更新・その他関連工事を行いました。

工期は約8ヶ月ありましたが、キュービクルの製作期間を含んでの事で、工事期間（停電作業日）としては令和3年12月25(土)～令和4年1月5日(水)の延べ12日間と決められている中、年末年始期間と重なり、材料手配等の管理、事前に出来る作業・後日出来る作業と、工程管理に注意し作業を行いました。

停電範囲は全館に及ぶため施設側と仮設発電機での電源が必要な機器等の打合せを密に行い計画をしましたが、終日停電になるため、建物管理に必要な自動火災報知設備・警備設備など深夜にトラブルや燃料切れによる発電機停止が懸念され、電源の安定供給に不安があったため、仮設低圧電気引込に変更しました。

高圧ケーブル更新では地中埋設予備配管に新設ケーブルを入線するため停電期間より事前に作業を行えますが、埋設配管の潰れ等により通線が出来ず掘削工事による配管復旧の可能性があり工期に影響を与えるので準備工事として試験棒を使用し配管内に異常がないかの調査を行いました。また安全管理としてハンドホールを経由しての管路のため、必ず作業前に酸素・硫化水素濃度の測定を実施し、安全確保を行ってから作業を実施しました。

構内1号柱での作業では、電柱の位置が歩道のない道路際に設置されているため柱上作業時に、工具・材料等が落下し通行人・車両など第三者災害が想定されるので、作業前に落下防止ネットを設置し作業を行いました。また安全作業、作業効率を考慮し高所作業車での作業としましたが、作業車の設置が施設周辺の公園への動線上に設置するため、第三者災害防止の観点より作業エリアをカラーコーンで区画し工事看板を設置しました。

本工事を通しまして施設担当者様、担当監督員様との密な打合せや調整を円滑に進めて頂き工事を完了できた事に感謝申し上げます。

今後も無事故、無災害で良い施工を目指して参ります。

工 事 場 所	港北区大倉山二丁目10番1号		
請 負 人 氏 名	東電同窓電気株式会社	代表取締役	浅水 一成
契 約 年 月 日	令和3年6月16日		
完 成 期 限	令和4年2月10日		
完 成 年 月 日	令和4年2月2日		
検 査 年 月 日	令和4年2月9日		
契 約 金 額	33,803,000 円		

エルゴテック株式会社

田奈小学校給水管改修工事

本工事は、小学校の夏休み期間中に給水方式を受水槽 + 高架水槽方式から直結給水方式へ変更するとともに、給水本管引込箇所の変更、ガス給湯器の新設を行う工事でした。

校舎の外周に足場を組立ての給水配管工事の為、生徒の通路を考慮して配管ルートを検討しました。又、高所作業車での作業が可能な箇所は作業車を使用して安全通路の確保に努めました。外部足場への出入口を毎日限定して常時施錠管理をしました。安全標識は、低学年でも解るようにひらがなで危険を表示しました。

新型コロナウイルス感染防止対策として、学校より時間割、行事予定を頂き、生徒や来校者が移動する時間帯は作業員の移動を避け接触を防止しました。

本工事における特筆事項として、次の2点があげられます。

- ① 断水作業は、断水場所、スケジュールを事前に学校と十分に打合せ調整をしました。
土曜日に断水をして日曜日に水出しを原則としました。
- ② 廊下のステンレス製流しは、取外し、配管更新、再取付して、夏休み明けに使用可能が必須でしたが、正直大変な工事になってしまいました。

施工管理は、スパイダープラスを使用することにより効率よく管理が出来ました。

今回の工事が無事故、無災害で完成することが出来たのは、学校関係者の方々のご理解とご協力、担当監督員様のご指導があったことと感謝しております。今後ともこの経験を活かし、より良い施工を心掛けて参ります。

工 事 場 所	青葉区田奈町5 1 番地 1 3		
請 負 人 氏 名	エルゴテック株式会社	代表取締役	山下 博幸
契 約 年 月 日	令和3年6月23日		
完 成 期 限	令和3年10月22日		
完 成 年 月 日	令和3年10月7日		
検 査 年 月 日	令和3年10月15日		
契 約 金 額	44,502,370 円		

紘永工業株式会社

浦舟特別支援学校空調設備更新工事

本工事は南区浦舟三丁目の浦舟複合施設内、11階の浦舟特別支援学校のガスヒートポンプ式空調機の更新を冷房期間と暖房期間の中間期に行う工事でした。

1. 施工管理・工程管理での重点項目

- ・今回工事の最大の重点作業は建物屋上階にある空調屋外機を、公道を利用してレッカー作業にて搬出入する作業でした。施設前面道路向いに横浜市立大学附属市民医療センターがあり、病院施設担当、救急車両を所管する消防局、来所者送迎のタクシー乗り場を管理する神奈川タクシーセンターとの工事日時の調整を行う必要がありました。
- ・居ながら工事となる為、マスターネットワーク工程表の他に教室毎の工程表・図面を作成し、施設関係者及び協力会社作業員にも各々の工事期間・作業内容を「見える化」して作業しました。

2. 安全管理・品質管理での重点項目

- ・公道での揚重機作業が重大事故に繋がりがねなかった為、搬出入作業日は「使用道路の完全封鎖」、「第三者（歩行者）通路の確保」、「救急車両入退時の安全確保」を重点に監視員・誘導員を適所に配員し、KYMを綿密に実施してから作業に入りました。
- ・機器廻り以外既存配管を再利用とするために、着手前に冷媒管は気密漏洩試験、ドレン配管は通水試験を実施した後に更新工事に着手しました。

今回工事におきましては、設計図に反映されていない前施工の不具合もあり、工期延長となりましたが無事完工できましたのは、発注関係者、担当監督員、学校関係者、施設管理者の皆様と上手にコミュニケーションがとれた所以と思います。誠にありがとうございました。

工 事 場 所	南区浦舟町3丁目46番地		
請 負 人 氏 名	紘永工業株式会社	代表取締役	青木 成文
契 約 年 月 日	令和3年6月30日		
完 成 期 限	令和4年3月31日		
完 成 年 月 日	令和4年3月22日		
検 査 年 月 日	令和4年3月23日		
契 約 金 額	46,827,000 円		

興和工業株式会社

新横浜公園日産スタジアム量水器更新工事

本工事は新横浜公園内の日産スタジアムを含めた5つの施設、23系統の量水器更新工事でした。

本工事で特に留意した点は、工程管理と利用者への配慮です。現場が日本最大の観客収容能力を誇る屋外多目的競技場であり、作業も広範囲にわたり、その営業に支障をきたすことなく工事を進行、完了させるためには、綿密な工程管理と膨大な数の利用者への配慮が要求されました。

まず、工程管理ですが、工程表、タイムスケジュールの作成にあたっては、各施設からの要望を100%受け入れることを基本方針とし、真っ先に、施設へ断水可能日、断水可能時間のヒアリングを実施しました。その日時を基準とし、前工程を逆算、後工程を調整する手続きを踏んだ結果、複数施設の工事の同時進行となる日程が生じることとなりましたが、そのような場合も代理人補佐を各施設に配置することで実行可能な体制をつくりました。そして、公園内は広大であるため、各現場間の移動距離が長く移動時間のロスも断水時間スケジュールに大きな影響を与えます。事前に移動シミュレーションを数回行うことで、工程の精度向上を図りました。

また、たとえば、日程上、耐圧試験の実施ができないなど、調整の難しい局面もありましたが、本件については、各メーターのフランジボルトナットの締付トルクはデジタル式トルクレンチを使用して厳密なトルク管理を実施・記録することで代替えとするという措置で対応しました。

次に、一般利用者への配慮については、欠かすことのできない新型コロナウイルス感染症対策として、基本的且つ日常的な対策に加え、毎日の作業員の健康ヒアリング、体温測定の実施、作業員専用の消毒スタンドの設置など、独自の強化対策を実行しました。

*断水作業が多かったことから案内看板は事前告知用と断水当日用の2種類を作成し、その周知に努めた。

*誘導員の配置計画策定の際に、人の流れを予測するために平日及び休日の各時間帯における公園利用者の状況も実際のタイムスケジュール内に事前確認した。

*見られ方という観点から常にきれいな作業服で作業をするよう心掛けた。

などが工夫・留意した点です。

これらの施策を実行し、施設関係者様をはじめ、協力会社様、担当監督員様のご協力のもと、無事、工事を完成させることができました。あらためまして、皆様に御礼申し上げます。今後も本工事の経験を活かし、技術向上に努めてまいります。

工 事 場 所	港北区小机町3300番地		
請 負 人 氏 名	興和工業株式会社	代表取締役	小堀 段
契 約 年 月 日	令和3年11月4日		
完 成 期 限	令和4年2月10日		
完 成 年 月 日	令和4年2月3日		
検 査 年 月 日	令和4年2月9日		
契 約 金 額	13,123,000 円		

新興電設工業株式会社

川井小学校トイレ改修その他工事（機械）

1. 工事概要

本工事では、校舎東側1階職員用トイレ・2～4階児童用トイレと、4階～R階の流末給水管の改修を行いました。

2. 工事に伴う課題・懸案事項

(新型コロナについて)

1) 本工事施工期間中は、コロナの感染状況から、入場規制や作業員の感染が心配されました。

(工程について)

1) 衛生器具等の新型コロナの影響で納期に遅れがでないか懸念されました。

2) 施設管理者様より西側トイレだけでは、児童の密集も懸念されるため、早期の仮使用の検討を打診されました。(工程の短縮が最重要課題と考えました。)

(工事方法について)

1) 工事中の振動・騒音の授業への影響を考慮する必要性がありました。

2) 外部埋設配管作業時、児童の導線に干渉するため安全対策が必要でした。

3. 工事に伴う課題・懸案事項に対する対策

(新型コロナについて)

1) 作業開始前、体調確認・検温・消毒を行い、保菌者を入場させないように努めました。また、作業終了時、貸与いただいているトイレ・休憩スペースの消毒を行いました。

(工程について)

1) 衛生器具等は、工事発注後速やかに施設管理者様と打合せ、承諾・契約・発注を行いました。

2) 工程短縮を目標に、建築業者と週毎の工程調整を行い、お互いの作業に支障をきたさないように配慮しました。また、意見を出し合うことで、より工程短縮をブラッシュアップできたので、当初の予定より完成を早めて仮使用いただけました。

(工事方法について)

1) アンカー・コア抜き等音出し作業は閉校日に先行して完了する工程で行いました。また、閉校日終了後の音出し作業は、極力休日作業としました。

2) 埋設配管作業エリアはフェンス等で区画を行い、万が一にも立ち入れないように隙間等もロープを張り区画を行いました。加えて、立入禁止等の表示も低学年の児童には漢字での表示ではわかりにくいと考え、平仮名やイラストを使った表示を心掛けました。

4. まとめ

この度の工事でご協力いただきました、施設関係者の方々、担当監督員様、関係業者の方々、皆様の協力なくして無事竣工はありませんでした。ありがとうございます。本工事で得た経験を生かして今後より良い工事ができるよう精進してまいります。

工 事 場 所	旭区川井宿町3番地2		
請 負 人 氏 名	新興電設工業株式会社	代表取締役	池松 忠彦
契 約 年 月 日	令和3年6月2日		
完 成 期 限	令和3年10月15日		
完 成 年 月 日	令和3年10月7日		
検 査 年 月 日	令和3年10月13日		
契 約 金 額	19,569,000 円		

株式会社司工事

中央卸売市場本場水産物部仲卸棟給水設備改修工事（B P - 3 系統）

今回の工事は卸売市場給水管改修工事ということで、一番に衛生面に十分意識し管理をしなければいけないと考えました。給水メイン配管の洗浄を接続前に十分に洗浄を行い、各戸の切り替え時には既存配管接続時に発生する錆水や既存配管切断時のゴミ等が運営時に出ないように細心の注意を払いました。

断水回数も系統管理や人員配置を図面に起こし、断水回数を最小限に抑えました。

また、コロナ過という事態の中の施工であったため、私も含め協力業者の体調管理を密に行い、マスク着用やこまめな消毒はもちろんの事、不要な会話も最小限にして、工事エリアの分散を計画して密にならないよう十分な配慮を致しました。

工事の施工に対しては、第三者等が頻繁に通行する場所での高所作業車の施工が多く安全管理の重要性を考え、市場関係者様に施工エリアを詳細に説明させて頂くとともに目の付きやすい場所にチラシの掲示を行い、安全エリアを幅広く取らせて頂き十分な安全確保をさせて頂きました。

建物外部では、市場への大型搬入車両往来が多いため長尺物の運搬に細心の注意を払いました。

今回の現場は特殊な場所でしたが、協力業者と共に色々な案を出し合いそれを施工や安全に反映しより良いものを作り上げる事が出来たと思います。

今後も、この現場で培った事を教訓にして、より一層努力していきたいと思っています。

工 事 場 所	神奈川県山内町 1 番地		
請 負 人 氏 名	株式会社司工事	代表取締役	清田 真弘
契 約 年 月 日	令和 3 年 8 月 4 日		
完 成 期 限	令和 4 年 3 月 18 日		
完 成 年 月 日	令和 4 年 3 月 9 日		
検 査 年 月 日	令和 4 年 3 月 16 日		
契 約 金 額	40,499,800 円		

株式会社日生設備

永谷小学校ほか1校トイレ改修その他工事（機械）

本工事では、永谷小学校・永野小学校の2校のトイレその他改修工事を行いました。

永谷小学校は、3階建て校舎に2系列トイレがあり、各階毎に男女が交互にある配置でした。又、高置タンクから今回工事のトイレまでの流末給水管の更新も合わせて行いました。

永野小学校は、4階建ての校舎の1系列のトイレの改修と高置タンクからの給水管の更新を行いました。

私がいつも工事の時に心掛けていることは、現場に携わる建築業者、電気設備業者、その他の施工業者、又施設の方等とこまめに打合せや相談・報告を行い意思の疎通を図ることです。打合せ不足や意思の疎通がないまま仕事を始めると、同じ場所での作業が重なり仕事にならなかつたりやりにくかつたりと工程に遅れが生じたり、変更の連絡がなく施工し配管の立ち上げ位置を間違えてやり直すといった無駄な作業が発生したり、さらには無理・無駄・時間的余裕の無さにより仕事が雑になり品質に影響が出たり、事故が起きたりと悪循環に陥ります。

工事管理の主な内容の安全管理・品質管理・工程管理・原価管理がしっかりできていたとしても、関係者とのコミュニケーション不足でうまくいかなかった現場もあると思います。

いろいろな現場があり、それぞれに様々な難題やトラブルがありますが、そのほとんどが関係者との意思の疎通で解決できたり問題が大きくならないで済んだりすることが多いと思います。

今回も関連施工業者ほか関係者皆様のご理解があり意思の疎通があったからこそ大きな事故もなく無事に工事を終えることができたと思います。

関係者の皆様には、感謝しております。

今後も工事関係者との意思の疎通を大事にしより良いものができるように心掛けていきたいと思ひます。

工 事 場 所	港南区下永谷五丁目48番15号		
請 負 人 氏 名	株式会社日生設備	代表取締役	斎藤 昌伸
契 約 年 月 日	令和3年6月2日		
完 成 期 限	令和3年11月30日		
完 成 年 月 日	令和3年11月12日		
検 査 年 月 日	令和3年11月19日		
契 約 金 額	46,992,000 円		

株式会社ヨコレイ

港南台ひの特別支援学校空調設備更新工事（2期）

本工事はガスヒートポンプ空調機(室外機 11 台、室内機 57 台)11 系統の更新工事でした。契約工期は 6 月 9 日～11 月 30 日でした。学校が稼働中の作業となりますが、空調機が使えないと影響が出ますので学校側も夏休み期間内の工事を強く要望されてました。ご期待に応えるために、夏休み期間中に機器を更新し、運転が可能となることを現場目標に掲げ計画を進めましたが、4 系統分の空調機が新型コロナウイルスの影響で納入されないことが判明しました。そこで方針を変え、7 系統は夏休み期間中に更新し、残り 4 系統は 10 月に学校が稼働している中で工事を行うという計画で、学校側にも承諾をいただきました。

着手後は毎日、状況の報告と次工程の相談や打合せを行い、学校側とのコミュニケーションに努めました。既存の空調機は集中リモコンによる操作管理をしておりましたが、9 月の 1 ヶ月間は新旧の空調機を新しい集中リモコンで操作することになりますので不具合が生じた際の対処方法など事前に想定し準備をしました。

その結果、トラブルは殆どなく、工事を完成することができましたのも担当監督員様のご指導と学校側のご協力のおかげです。皆様に深く感謝いたしますと共に今後も実際に設備を使用される方々に寄り添った工事を行い、皆様のご期待を上回ることを目指して参ります。

工 事 場 所	港南区港南台五丁目 3 番 2 号		
請 負 人 氏 名	株式会社ヨコレイ	代表取締役	有井 清
契 約 年 月 日	令和 3 年 6 月 9 日		
完 成 期 限	令和 3 年 11 月 30 日		
完 成 年 月 日	令和 3 年 11 月 19 日		
検 査 年 月 日	令和 3 年 11 月 26 日		
契 約 金 額	63,932,000 円		

令和4年度版 工事管理のひけつ

編集・発行 公益財団法人横浜市建築保全公社

横浜市中区相生町 3-56-1 KDX 横浜関内ビル 6F

TEL 045-641-5106 FAX 045-664-7055

<http://www.y-hozen.or.jp>

発行日 令和4年11月16日

本文はそれぞれの原稿を元に一部修正等を行っておりますが、その責任は当公社にあります。無断で本書の全部もしくは一部を転載・複写することをご遠慮ください。